

南信州広域連合第12回広域連合会議 結果報告

日時：令和2年3月16日(月) 15:25～15:58

場所：県飯田合同庁舎301号会議室

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕丸山所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔飯田広域消防〕赤羽目消防長・有賀消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕北原事務長

〔事務局〕高田事務局長・松江事務局次長・加藤次長補佐兼庶務係長

櫻井次長補佐兼広域振興係長・秋山介護保険係長・宇佐美庶務係主事

1 開会…15:15

2 広域連合長あいさつ

新型コロナウイルスがパンデミックの状況にある。当地域でも様々なイベントを自粛している。人が動かないことでウィルスの封じ込めを行っていき、医療崩壊を起こさないということをしていかなければいけない。

この困難な状況を、飯田下伊那・南信州が一丸となって乗り越えていく。

3 協議・報告事項

(1) マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト事業について(資料No.1)

【説明者：プロジェクトメンバー：広域連合齋藤職員、松川町松下職員、下條村佐々木職員】

*プロジェクト事業の経緯

平成28年11月の連合会議で、「マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト」を提案し、平成29年度から市町村職員でプロジェクトチームを構成して、事業を具体化する取組みを開始。

*現在プロジェクトで取組んでいる2つの事業について

・「自信と誇りの持てる農業の再構築」

農業を自信と誇りの持てる職業として再構築することで、農業の担い手を育て、それが地域の担い手となり、持続可能な地域づくりに繋げようとする取組み。現在は、市場の声を知るための出張販売やレストラン関係者との意見交換、ICT機器を活用した農業であるスマート農業の研究、高付加価値な食材としてイタリア野菜などの希少西洋野菜の生産、販売などに取組んでいる。

・「一村一企業ダーチャ運動」

ダーチャとは、ロシアで古くから普及している郊外型のほ場付きの別荘。都市部の企業が当地域にダーチャを持ち、ダーチャをCSRやSDGsなどの対応や、社員教育、福利厚生などといった企業の課題解決を行うフィールドとして活用してもらい、それが当地域にとっては交流人口の拡大や耕作放棄地問題といった課題解決にも繋がる仕組み。

*事業のリーダーから取組んでみるの思いについて

・「自信と誇りの持てる農業の再構築」(松川町松下職員)

農業分野では、飯田下伊那の生産者、卸業者、飲食店で協力しながらマーケティングの視点から農産物の生産、販売について試行錯誤してきた。

南信州という広い範囲でこうしたネットワークを作ることは物理的な距離の遠さやそれぞれの地

域の人の個性、価値観の違いもあり簡単なことではないと感じている。

しかし、それぞれのこだわりを大切にして農業をしている各地域の生産者やほかの業種の方たちと協力することで、今までと違った価値を創出できたり、解決できる課題もあるとプロジェクトを通して感じている。

これまでの取組みにより、南信州の魅力や課題を客観的にとらえ、行政、民間が関わりながら新しい挑戦をしていくことが、これからの時代の変化にも柔軟に対応できる力を養っていけないかと感じている。

魅力や課題について取り組んでいき、地域の人たちの連携の橋渡しができるように貢献していきたい。

・「一村一企業ダーチャ運動」(下條村佐々木職員)

14市町村色々な特色がある中で、南信州という枠を持って共通課題の解決に取り組むことが良かった。外からこの地域がどういうふうに見えるのかという部分をしっかり考えることが大事だと実感し、南信州としての特徴を最大限に生かせるように多様性をとらえて考えていくことが大切。

このプロジェクトは、リニアに関係なく持続可能な地域を作るものということで、その価値を見出すために取り組んでいる。

ダーチャは、農業研修や体験と思われているが、都市と地方をマッチングして課題解決できればと考えて行っている。

できない理由を考えるのではなく、どうやったらできるのかという手段、方法を見つけていきたい。

下條村に拠点とほ場を想定している場所があり、新年度5月にはそこで体験会をやっていききたいと考えている。

*令和2年度も引き続き市町村職員からプロジェクトメンバーを募集するので、これまでの経過や趣旨を理解していただき、プロジェクトに職員を派遣していただくようお願いしたい。

(主な意見等)

豊丘村 : 企業版ふるさと納税を使ってのマッチング企業探しはどうか。企業版ふるさと納税は、企業へのお返しができないので、農業や林業を体験してもらうとかそういったメニューは考えないといけないが。

佐々木職員 : ダーチャについては、各市町村に繋がりのある企業が、その市町村のために何かしたいなという考えと、その会社の課題の解決策を持っている市町村をマッチングしていくというのがメンバーの役割だと考えている。

事業に興味を持っている企業にも話をしたりしているが、マッチングの難しさを感じている。

豊丘村 : リニアは関係ないということを言っていたが、せっかくリニアが来るのだから大きく利用すべき。

(2) 旧産業センターの地域医療福祉連携課事務所設置について (資料No.2)

【説明者：加藤次長補佐兼庶務係長】

*経過

医療福祉関係事業の増加により、現在の1課3係体制を2課4係体制に組織拡充。

人員増に対応するため、介護保険系の事務所機能を旧南信州・飯田産業センターに移転。

*設置される課等

地域医療福祉連携課 (介護保険係、医療福祉連携係)

*移転の時期

新事務所での業務開始日は、令和2年3月30日(月)

開所式は、令和2年3月31日(火)午後3時

＊施設の管理

施設の名称は、南信州広域連合事務センター。

開館時間は、午前8時30分から午後5時15分まで（休日を除く）。

＊施設への出入り

館内は、施設東側の入り口（正面玄関は常時施錠）。

駐車場は、南側（正面玄関前）の入り口（西側入口は常時施錠）。

＊事務所以外の用途

広域連合の業務に係る会議等（審査会、連合会議など）や、目的外使用許可（他団体の施設使用）。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(3) 南信州広域連合における新型コロナウイルス感染症対策について（資料No.3）

【説明者：松江事務局次長】

3月中における広域連合関係のイベント、会議等の開催状況について、資料に沿って説明。

3月31日に予定している南信州広域連合事務センターの開所式は規模を縮小して実施する。

医療・介護関係の入所調整や審査会など必要な会議は、感染防止に十分な配慮をした上で実施。

環境センターは、環境学習講座を中止する。

広域消防では、中止、延期するものが多くあるが、消防署見学など一部規模を縮小して実施するものもある。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(4) 稲葉クリーンセンターの事業系廃棄物に関する取組みについて（資料No.4）

【説明者：北原飯田環境センター事務長】

事業系廃棄物に関する取組みとして、ポスターとチラシを作成した。市町村の了解も取れたので、今回はそのポスターとチラシを紹介。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(5) 飯田広域消防本部から（資料No.5）【説明者：有賀消防次長兼総務課長】

火災件数は3月15日までに23件。前年比プラス2件。

3月1日から3月7日まで春の火災予防運動を実施。火災予防運動期間中に4件の火災が発生し、1名の死者が出た。

3月31日まではたき火火災ゼロ運動を実施。生活道路まで入り込んだ車両広報等を実施していく。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(6) 後援依頼について（資料No.6）【説明者：加藤次長補佐兼庶務係長】

審査案件2件。

＊「第13回武田信玄狼煙会狼煙上げ」、主催は武田信玄狼煙会。開催日時は、令和2年8月29日（土）。

＊「いいだ人形劇フェスタ 2020」、主催はいいだ人形劇フェスティバル実行委員会、飯田市、飯田市教育委員会。開催日時は、令和2年8月6日（木）～8月10日（月・祝）。

→ 異議なし、承認。

(7) その他 【高田事務局長から】

＊医療職就職ガイダンス中止について

5月2日に予定されていた医療職就職ガイダンスは、飯伊地区包括医療協議会で協議がされ、就職を控えた学生を一堂に集めたり、医療従事者を多く集めるということがあり、危険を避けるためにイベントは中止となった。個別にそれぞれの医療機関から就職を控えた学生へのアプローチを行う。

看護師等確保対策修学資金の貸与者について、面談をする予定だったがこれも中止とする。

*議決された後期基本計画を配布した。

(主な意見等)

高森町 : 新型コロナウイルスに関して、まだこの先の状況はわからないのに、5月2日のことに対して中止の決定をする必要はないと思う。もう少し検討するとか。修学資金の貸与者もそうだが、顔を見てしっかり話をして今の状況を把握するべき。

4 長野県

(1) 南信州地域振興局

長野県営業本部について

マッチングサイトがあり南信州企業も18社登録している。サイト登録者間の商談だけでなく、登録された商品情報を用いて営業本部が広くバイヤー等に紹介していく。

詳細は配布のA3パンフレットを見ていただき、不明な点があればご連絡をいただきたい。

(2) 飯田建設事務所

→ 報告事項なし。

(3) 飯田保健福祉事務所

新型コロナウイルスについて

- ・新型コロナウイルスかもと思ったら、直接病院に行かないようにまずは保健所に電話をしてほしい。
- ・ウイルスは手の脂につきやすいので、手洗いをしっかりして手の脂を落とすようにするとよい。

5 当面の日程について

3月26日(木) 15:00 伊那谷自治体会議(県上伊那合庁)

3月31日(火) 15:00 地域医療福祉連携課開所式(旧南信州・飯田産業センター)

6 閉会…15:58